

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

先生の言葉には力がある

北薩教育事務所 所長 末満 一二三

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症防止への対応で日常の学校生活を送ることが難しい状況であった。そのような中、各学校では、マスク着用や手洗い、換気など感染防止策を徹底し、児童生徒の安心・安全な学習環境を確保しながら、充実した教育活動を展開していただき、感謝している。



このような予期しない出来事が起こる時代だからこそ、学校教育の中で、他者との「つながり」をしっかりと続け、そして各人のありのままを受け入れ、他者に感謝しながら、言葉を交わすことが大切であることを児童生徒に分からせることが重要である。

昨年は特に新聞の投稿で、先生の言葉に勇気付けられたり、やる気を引き出したりしている記事をよく目にした。例えば、逆上がりができなかった小学2年生が、体育の時間に「魔法の言葉」をかけられたことで、やる気が起こりできるようになった記事や校長先生の言葉で朝のボランティア活動の意義や最上級生としての自覚を意識するようになり、朝のボランティア活動に積極的に取り組むようになった記事など、先生が児童生徒に対して、「心を添えて」、「心を込めて」言葉かけし、大きな影響を与えていた。「先生の言葉には力がある」とつくづく感じた。

ところで、令和元年度全国学力・学習状況調査結果で「自分にはよいところがある」と回答した本県の児童生徒は小・中学校ともに全国平均を下回っている。本地区の児童生徒の結果も同様であり、自己有用感が低いというデータがある。自分自身に自信がもてなかったり、自分自身のよさを感じていない状況が見られ、自分の考えを広げ深め、うまく他者に伝わるように発表できていない状況が見られる。この課題を解決するためには、授業等で友達と語り合う場面をできるだけ多く設定したり、自分の考えや意見を発表する経験をさせたりする中で、発表したときには、教師自身が「しっかり褒める」など、認め、励ますことが大切であると思う。

教育に携わる人間が、どんな難しい課題が発生しても、教育活動の目的を明確に捉え、児童生徒一人一人の未来に影響を与えるであろうことを自覚し、それぞれの教育活動を再度見直し、児童生徒一人一人と、今まで以上に「心を込めて」、言葉を交わしていきたいものである。

北薩地区オープンサポート教科フォーラムを終えて

令和2年11月11日（水）開催

参加者：地区内の教職員等119人

今年度は、児童生徒が「分かった、できた」を実感できる授業づくりの工夫として、これまで取り組んできた北薩の授業づくり3ポイントや「学びの羅針盤」を基に、新たに、終末では諸調査等の過去問を活用したり、通過率の低い問題の解説を含めた自作の授業動画を活用したりして振り返りに重点を置いた取組を発表しました。また、今年度も山本義務教育課長を招聘し、諸調査の過去問を丁寧に解説しながら、計画的、意図的、継続的に過去問に取り組むことの大切さを講話していただきました。

成果発表の様子



講話：山本義務教育課長



第34回県地区対抗女子駅伝

令和3年1月31日(日) 10:00スタート
霧島市隼人運動場スタート・フィニッシュ

第68回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝大会

令和3年2月13日(土)～17日(水)
県内各所で、5日間の激戦

コロナ禍での開催ですが、選手・スタッフは、地区のために頑張っています。今年度の応援は、テレビや報道での応援が中心になり、沿道での応援の自粛をお願いしています。

「密を避け マスク着用 手指衛生 換気に努め 健康管理」

令和2年度 地区等指定校研究公開の紹介

今後の研究公開予定校

- 地区指定「国語科」研究公開
学校名：長島町立川床小学校
公開学年：第4学年，第6学年
期 日：令和3年2月5日（金）
- 県指定「へき地・小規模校教育」研究公開
学校名：阿久根市立田代小学校
公開学年：第4学年
期 日：令和3年2月2日（火）

出水市立大川内小学校 令和2年10月27日(火)

主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする子供の育成 ～言語活動の充実を通して～

「言語活動の充実」を中学年から位置付け、思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいます。児童は知っている英語を駆使して、考えや気持ちを伝え合い、よりよいコミュニケーションを意識した言語活動に積極的に取り組んでいました。また小中学校の接続を大切に、学びの連続性を意識した授業に取り組んでいます。



薩摩川内市立水引小学校 令和2年11月17日(火)

主体的に取り組む、学び合う子どもの育成

「小中がつながる」「学びがつながる」「家庭とつながる」の三つの柱を基に学力向上に取り組んでいます。教育活動を見直し、質の向上を図るために、教科横断的なカリキュラム編成を行ったり、義務教育9年間の学習系統表を作成し、系統性を意識した教育活動を展開したりと、「つながるカリキュラム・マネジメント」の実践が公開されました。



薩摩川内市立水引中学校 令和2年11月17日(火)

主体的に取り組む、学び合う子供の育成

「問いのもたせ方の工夫」「学び合いの工夫」「振り返る場の工夫」の三つの視点から授業改善に取り組んでいます。英語の授業では、クイズ作り中で、グループのメンバーの意見を参考に自分の考えを再構築し、課題解決につなげる様子が見られました。また、振り返りの場を設定し、自ら学びの成果を確認することで、学力向上につながる取組を行っていました。



さつま町立鶴田小学校 令和2年11月27日(金)

子供たち一人一人が夢になる体育科学習指導の在り方～「分かる」「できる」を実感できる指導の工夫～

系統立てた重点指導内容を設定し、各単元において指導内容を精選する研究に取り組みました。授業では、その成果が活かされ、子供たちが夢になり、活動している姿が見られました。



長島町立鷹巣小学校 令和2年12月4日(金)

「生きて働く言葉の力」を身に付けた子供の育成～説明的な文章における授業実践をとおして～

授業改善の3ポイントとして、「もつ・こだわる」「広げる」「生かす」の三つの視点を学習過程の中に位置付け、ねらいを明確にした指導計画や単元のゴールを意識した授業実践に取り組んでいます。参観前に、公開授業における重点化した視点について説明し、参観者の視点に立った提案の仕方を工夫していました。



学校における業務改善アクションプラン実践事例紹介

平成31年3月に策定した学校における業務改善アクションプランは、令和3年度が最終年度となります。各学校では、これまでの成果や課題を分析し、今後どのような取組をしていくか検討されているとは思いますが、県教育委員会のHPに鶴川内小学校と川内北中学校の実践事例が紹介されていますので、是非、参考にするなどして、各学校の業務改善に生かしてください。



【カエルボード】



- 鶴川内小学校【退庁時刻の意識化と情報機器の活用】
 - ・カエルボード、配布物や連絡事項のデータ化
- 川内北中学校【校内研修と衛生委員会の連携、PDCAを踏まえた業務改善】
 - ・全職員の取組1Action、個人の取組1Tryの共有化

良質な教育環境づくりへのアドバイス④

昨年度、ある校長先生が、鹿児島学習定着度調査の結果を受けて、「これでは、生徒が志望している高校には進学させてあげられない。生徒に申し訳ない。」と語った言葉が今でも鮮明に残っています。その後、学力向上に向け教職員と共に取り組む校長先生の姿に学ぶことの多い1年間でした。

編集後記

見えない敵と先行きに不安が募ります。報道で医療従事者の悲鳴を聞くたびに、心が痛くなります。我々にできることは、感染予防をしっかりと、滞らせてはいけない教育活動を充実したものにすること。そして、どんな時も心には優しさを。